

中国語

中国語科目の学修の目安（到達のポイント）および学習動機別の効果的な履修モデルは以下のとおりです。

(1) 中国語学修の目安

	到達のポイント	習得する語彙数の目安	資格検定などで対応するレベル
初級	<p>一通りの中国語文法を習得し、それを運用して簡単な中国語を、聞き・話し・書くことができる。</p> <p>また、日本語や英語との比較から、中国語ならではの表現方法に着目し、その背後にある中国語的な発想（認識枠組み）について理解する。</p> <p>【読む】日常生活や身近な分野について平易に書かれた文章を、辞書を引きながら読むことができる（1時間で400字程度）。</p> <p>【書く】簡単なメールや手紙を書くことができる。</p> <p>【話す・聞く】中国語の発音が正しくできる（ピンインの読み書きが正確にできる）。片言でなんとか中国を観光旅行できる会話能力。</p>	550	中国語検定 4級 HSK2 級相当
中級	<p>初級で習得した文法知識の上に、節と節との関係の把握、複文や各語のもつ言い回しについて経験を積み慣れ、実用のレベルにもってゆく。</p> <p>日本語や英語との比較から、中国語ならではの表現方法に着目し、その背後にある中国語的な発想（認識枠組み）について一層の理解を得る。</p> <p>またテキストの読解に欠かせない中国文化、社会、歴史についての知識、理解を併せて深める。</p> <p>【読む】辞書を用いれば、新聞、雑誌記事を、構文を正確に把握しながら読むことができる。</p> <p>【書く】身近な話題について、中国語の表現方法を運用しながら作文をすることができる。</p> <p>【話す・聞く】日常生活や学校・職場で必要な中国語を理解し、自己表現を行う初歩的な能力を身につける（留学等に必要最低限の会話能力）。</p>	1200	中国語検定 3級 HSK3～4 級相当
上級	<p>テキストの背後にある中国固有の歴史的、社会的文脈を理解し、それらをふまえて文章を理解し、あるいは自己表現を行う初歩的な力を身につける。この段階まで達すれば、中国語を自分のものにできたことになる。後は加速度的に運用力が増す。</p> <p>【読む】学術論文、文学表現など高度なテキストを、辞書を引きながら読解できる基礎的な能力が身につけている。</p> <p>【書く】複文や定型的表現を応用して、論理性を備えた文章を書くことができる。</p> <p>【話す・聞く】議論の場において、その流れを把握し、自らの見解を論理的に表現できる。</p>	2500	中国語検定 2級 or 準 1級 HSK5～6 級相当

(2) 中国語履修案内

学習動機	将来仕事で中国語を使いたい（プロの通訳，翻訳家以外）。 ※到達のポイント＝上級レベルの達成（各分野において）
効果的な履修モデル	【1年次】初級（総合）Ⅰ，Ⅱ（週2コマ1年）＋ 初級（実践）Ⅰ，Ⅱ（週1コマ1年） 【2年次】中級（週 2～3コマ） 【3～4年次】上級（1年あたり週 2コマ） *短期留学は不可欠。長期（1年間）留学が望まれる。 *2年次以降は，「読む」・「書く」・「話す」・「聞く」の各分野の授業をバランスよく履修する。
学習動機	大学院進学，研究者として中国語を使用したい。 ※到達のポイント＝上級レベルの「読む」・「書く」を主として達成
効果的な履修モデル	【1年次】初級（総合）Ⅰ，Ⅱ（週2コマ1年）＋ 初級（実践）Ⅰ，Ⅱ（週1コマ1年） 【2年次】中級（講読の授業を中心に週2～3コマ） 【3～4年次】上級（講読の授業，会話の授業を，それぞれ1年あたり週1コマ以上） *短期留学がプラスされることが望ましい。
学習動機	中国に滞在（駐在）する際に，日常生活にはほぼ困らないレベルになりたい。 ※到達のポイント＝中級レベルの「話す」・「聞く」を主として達成
効果的な履修モデル	【1年次】初級（総合）Ⅰ，Ⅱ（週2コマ1年）＋ 初級（実践）Ⅰ，Ⅱ（週1コマ1年） 【2年次】中級（会話の授業と講読の授業をそれぞれ週1コマ以上） *短期留学がプラスされるならばより効果的。 *2年次終了までに到達したレベルを維持・向上させるため，3，4年次にも引き続き，上級（会話の授業を主に，1年あたり週 1コマ以上）を履修することが必要。
学習動機	卒業論文やレポート作成のために中国語の新聞・雑誌記事を活用したい。 ※到達のポイント＝中級レベルの「読む」を主として達成
効果的な履修モデル	【1年次】初級（総合）Ⅰ，Ⅱ（週2コマ1年） 【2年次】中級（講読の授業を中心に，週 2コマ以上）
学習動機	卒業論文やレポート作成のために中国語の新聞・雑誌記事に加え学术论文を活用したい。 ※到達のポイント＝上級レベルの「読む」を主として達成
効果的な履修モデル	【1年次】初級（総合）Ⅰ，Ⅱ（週2コマ1年） 【2年次】中級（講読の授業を中心に週 2コマ以上） 【3～4年次】上級（講読中心の授業を 1年あたり週 1コマ以上）
学習動機	中国を（バック旅行でなく）個人旅行したい。／将来，中国語の学習が必要になった時に自習できるレベルを維持しておきたい。 ※到達のポイント＝初級レベルを達成
効果的な履修モデル	【1年次】初級（総合）Ⅰ，Ⅱ（週 2コマ 1年） 【2年次】中級（講読の授業を中心に週 1コマ 1年） *初級（速習）Ⅰ，Ⅱ（週1コマ1年）を履修の場合は，2年目に中級（会話，講読）を週2コマ（1年）履修することが望ましい。